

各位

会社名 株式会社GRCS
代表者名 代表取締役社長 佐々木 慈和
コード番号：9250 東証グロース
問合せ先 取締役管理部長 田中 郁恵
TEL. 03-6272-9191

2024年11月期 第1四半期決算 質疑応答集

この質疑応答集は、2024年4月12日（金）に発表した2024年11月期第1四半期の決算情報開示後に株主・投資家の皆さまからいただいたご質問及び当社で想定しておりました質問についてまとめたものです。ご理解いただきやすいよう、一部表現の変更や内容の加筆・修正を行っております。

Q 四半期単位では2023年11月期第4四半期に続いて黒字となりましたが、引き続きこの傾向は続くと考えてよいのでしょうか。

A 第1四半期の業績は、当初第2四半期に受注を予定していた案件を前倒しで受注したため想定以上の進捗となりましたが、通期業績予想に対しては概ね計画どおりとなる見通しであります。

Q フィナンシャルテクノロジーの売切り型ライセンスについて、今後も継続して売上の見通しがあるのでしょうか。または、特需だったのでしょうか。

A フィナンシャルテクノロジーのプロダクトライセンスはサブスク型と売切り型の2通りの販売方法がございます。顧客のニーズに合わせて販売方法を変えております。これまでの販売実績はサブスク型のみで、当第1四半期に初めて売切り型のライセンスを販売いたしました。今後のライセンス販売はサポート支援を見込める売切り型及びサブスク型共に注力し、継続取引を積上げていく方針であります。

Q 利益率の向上が著しいですが更なる余地はございますか。

A 第1四半期においては売切り型ライセンスの販売により利益率が向上しております。今後も高水準の利益率を維持できるようプロダクト販売を強化していく方針であります。

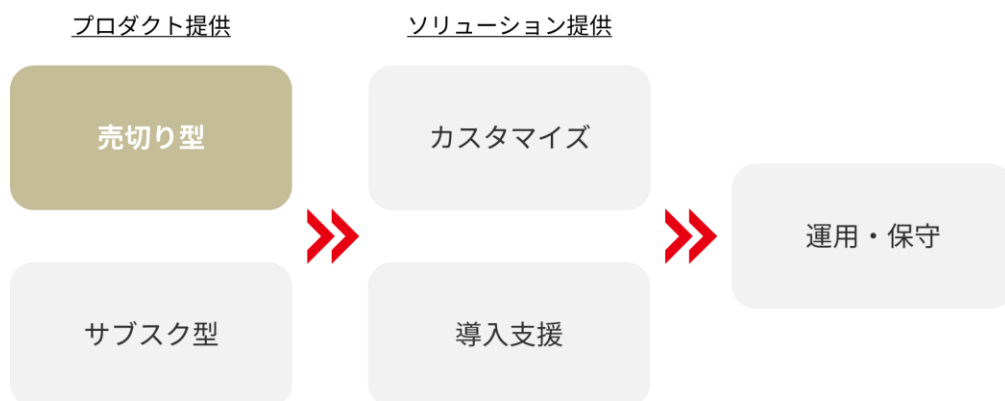
Q

売切り型ライセンスは、販売後にメンテナンス等の継続した取引が発生するのでしょうか。

A

フィナンシャルテクノロジーの製品は専門性が高く、売切り型ライセンスの場合でも、メンテナンスや運用・保守等の継続取引を受注することがほとんどとなります。第1四半期に販売したライセンスについても、カスタマイズ等の導入支援が完了した後にメンテナンス等の取引を受注予定であります。

主なサービスの流れは以下のとおりであります。



Q

稼働率の改善を目的に、新規採用を抑制したとのことですが、しばらくはこの傾向が続くのでしょうか。人の確保が売上拡大につながると思いますが、人員計画などがあれば教えてください。

A

今後も改善状況の維持に努めてまいります。

第1四半期において前期採用人員の収益化に目途が立ちましたので、今後は案件獲得状況に合わせて採用することで高稼働率を維持しつつ売上高を伸ばしていく方針であります。

また、業績予想に織込まれている人員計画としては、2024年4月に新卒が13名入社いたしました。少しでも早い時期での案件稼働を目指してまいります。

以上

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの将来の見通しに関する記述は、本資料の日付時点の情報に基づいて作成されています。

これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。このような将来予想に関する記述には、必ずしも既知および未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。

これらの記述に記載された結果と大きく異なる可能性のある要因には、国内および国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

また、当社以外の事項・組織に関する情報は、一般に公開されている情報に基づいており、当社はそのような一般に公開されている情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証していません。